

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京都北区立児童発達支援センター（保育所訪問）			
○保護者評価実施期間		R7 / 9 / 16	～	R7 / 11 / 7
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間		R7 / 9 / 16	～	R7 / 9 / 16
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○訪問先施設評価実施期間		R7 / 9 / 16	～	R7 / 9 / 16
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14名	(回答数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月12日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所利用関係なく、北区民に利用してもらえる受け入れをしている。 ・個々の、特性に応じて適した専門員(OT, ST, PT, 心理士)を派遣している。	・利用回数を設定することで、より多くの方の受け入れを実施している。しかし、利用者の状況が一定程度の安定を図れるよう継続して支援をおこなっている。	・専門員間との連携を強化し、複数担当等で連携することで、より児童発達の特性に応じた支援をおこなう。
2	・地域障害児支援体制中核拠点を担う児童発達支援センターとして、区内の保育園・幼稚園・こども園に学習会の開催を提供する。	・学習会を通して、区内各施設の職員が児童発達に関する専門的理解を深め、課題を抱える利用者の生活内での問題への気づきや対応力の向上を図れるよう支援している。 ・保育所等訪問への認知度を高め利用を促進すること目的に、実施の内容や意図、その効果を分かりやすく周知している。	・学習会の出張開催や夜間開催を新たに実施し、利便性の向上や地域の各施設間連携の強化に寄与している。 ・より幅広い施設職員へ対象を拡大していく。
3	・区内全体の保育所等訪問支援を実施する事業所のレベルアップのため、区内の保育所等訪問支援を実施する事業所の勉強会を開催している。	・区内全体で考え、インクルージョンの推進を図る。	・継続開催や互いに連絡の取れあうネットワークの構築。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援員の殆どが非常勤職員であり、かつ常駐していないため、綿密な相談が難しい場合がある。	・近年、利用者が増加しており、訪問支援員の効率的な運用や支援方法の確率が課題である。	・OT、ST、PT、心理士、など幅広い専門職を配置しており、職員間の協力により全体として最適なサービス提供を心掛け、効率的かつ効果的な支援をおこなっていく。
2	・公的機関の役割として、より多くの利用者へサービスを提供できるよう受け入れているため、利用回数の制限をしなければならない状況である。	・利用者の状況に応じて、計画的に訪問スケジュールを設定したいが、新規との調整もあり、先の見通しやスケジュールが立てにくい。	・訪問だけでなく、日々の連携、連絡をとおして継続的な支援をしていく。
3			

## 公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		東京都北区立児童発達支援センター（保育所訪問）						公表日 令和 7年 12月 24日	
		利用児童数 令和 7年 9月 1日 19名 回収数 6							
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	0	0	3			
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5	0	0	1			
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	1			
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	0	0	0			
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5	0	0	1			
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	・訪問支援をお願いしてから、息子の特性を担任の先生はじめ、学校全体の先生に共有していただき、息子を理解しようとしてくれる身近な大人が増えた事から反発心より、安心感が大きくなっています。	・利用者の特性に応じた専門支援員が訪問するようにしています。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	・専門の先生のご意見も踏まえて作成されており、専門療育と連動した内容になっていると思います。	・当センターの児童発達支援をご利用の方には担任、担当職員とも情報を共有しています。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	0	0	0	・担任の先生からも聞き取っていただいた上で作成されました。なお、担任からの聞き取り内容も親にフィードバックがあり、丁寧でした。	・お子さんのことは保護者、訪問先施設、訪問支援員で三者間で共有して進めています。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0			
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0			
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0			
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	2	0	1			
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	1	0	1			

保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	3		
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5	0	0	1		
満足度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6	0	0	0		
	28 事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	1		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

東京都北区立児童発達支援センター（保育所訪問）

公表日

令和 7年 12月 24日

利用児童数

令和 7年 9月 1日 8名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な訪問の中で成長した部分、今後に向けて共有した上で助言していただき、とても参考になっている。</li> <li>・支援目標も明確に話していただき、取り組みやすくなりました。</li> <li>・その子について詳しく丁寧に説明してくださいり、具体的にどのような方法があるか教えてくださいました。</li> <li>・わかりやすく参考にしたいが、集団で取り入れるのは難しく、現実的ではないものも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の園や学校の理念や方針があり、環境も異なることを視野に入れて、提案できるようにしていきます。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの特性を踏まえた上で、様々な方法を提案していただき実践しやすい。</li> <li>・支援内容が具体的で、園でも支援できることだったので参考になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の中で実践できることを提供していくように心がけます。</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対して具体的で取り入れやすい回答をしていただけている。</li> <li>・振り返りの時間も十分にあり、質問にも適切に回答いただけました。</li> <li>・年に数回の訪問だけでは子どもの姿を把握しきれないと思う。訪問日にいつも姿とは違う様子が見られることが多く、数少ない訪問日も意味をなさないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない回数なのは心苦しいです。その訪問日を無駄にしないように先生方の意見も取り入れて、日々の様子が分かる工夫をしていきます。</li> </ul>
4	保育所等訪問支援を利用したことでの課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問後の振り返りの中で園の状況やお子さんについて共有でき悩み事が少しづつ解消されている。</li> <li>・園の様子を保護者にもお伝えいただけことで、安心してもらいました。</li> <li>・手作りのカードを作ってくださるなど様々な方法を教えてくださいました。</li> <li>・毎月コンスタントに訪問していただき、その都度家庭と園それぞれと連携をとれると意味があると思う。年に数回の訪問だけでは間があいてしまい、経過を見守るのは難しい。困っているときにすぐ相談できないことがはがゆい。療育をすすめるきっかけとしたいが、本来の姿がその日に見ていただけずにご理解いただけないことが続いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の方全体を対象にしているので、どうしても回数には制限があります。</li> <li>・利用者の特性を理解していただけること、そのための対応を基本に進めています。</li> <li>・訪問時に関わらず、ご相談に応じていくことを周知していきます。</li> </ul>
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問だけでなく電話での問い合わせ等にも応じていただけて、大変満足している。</li> <li>・継続して利用いただこうと思います。ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、連携して地域の中で子育てをしていけるように、励みます。</li> <li>・その時限りでなく繋がりを大事にしていきます。</li> </ul>

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>・お子さんの姿や課題だけでなく保護者に対するアプローチの方法なども相談、共有できてとても助かっている。訪問の際に保育士のかかわりの良いところを認めてくださることも職員のモチベーションにつながっていると感じる。</p> <p>・保護者に、直接本人の課題や支援のアドバイスをして下さるので、園としてもとても助かりました。</p> <p>・相談にのってくださいり、アドバイスも適切だと感じた。保護者への支援も行ってくださいり、助かっている。</p> <p>・偏食の多い児へのアプローチなど、参考になり活用させていただいています。</p> <p>・ただ単にアドバイスをいただくのではなく、保育園の取り組みを見て成長を感じ取ってもらえたのもうれしく思いました。ありがとうございました。</p> <p>・園と支援センターの繋がりだけでなく、園と家庭、家庭と支援センターとそれぞれの繋がりも含めながら話をしていただいたため、園としても家庭との繋がりをより考えることができた。</p> <p>・お忙しい中、訪問をして頂き有難うございました。今回は、保護者も参加して頂いたことで不安や心配が少しでも取り除けたなら嬉しい思います。前回（7月）からの成長や気付かれた点、又共有する内容など細かくアドバイスをして頂きました。今後、経験を重ねることで必要なことがありましたらご連絡宜しくお願い致します。</p>	<p>・各園の先生方に快く受け入れていただき、そしてご協力に感謝しています。皆さんからいただいたご意見を参考に、より受け入れてよかったですと思っていただけるように、訪問支援員で共有していきます。</p> <p>・訪問先の職員の方々が普段行っていること（声掛け、関わり、見守りにもなど）から、たくさんの工夫やお子さんへの思いがあるなど、訪問支援員が訪問先で把握出来たことを保護者へ具体的にお伝えすることで安心をしてもらいました。</p> <p>・利用者1人1人が、地域で安心して生活ができるように、ご一緒に考え方協力していくように今後もご意見をいただきながら進めていきます。</p>

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		東京都北区立児童発達支援センター（保育所訪問）				
		公表日 令和 7年 12月 24日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・事業所にあるもの、また準備できるものを持参して紹介や貸し出しなどしている。	・個々により必要なものが異なるのが難しい。複数で共通するものなどは、少しづつ揃えていきたい。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用者の特性に対して専門職を配置している。	・利用希望者人数や時期の予測ができるない点では、職員配置が難しい。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・広くは難しいが、意見をいろいろな支援員にもらい参考にしている。		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表のみならず、初回面談からお話を聞く際には、思いや質問などをしっかりと確認している。		
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個々の職員の経験を活かせるように、意見を参考にしたり、取り入れている。		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・当センターで実施する講演会や勉強会の参加を呼びかけ参加してもらっている。	・早めに周知し、参加できる機会を多くしていく。	
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・保護者の聞き取りの他に、学校、園、相談支援員などとも連携しておこなっている。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・適宜打合せ、情報共有をして行っています。		
適切な支援の提供	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・必ず訪問先の方から事前にアセスメント表や電話にて連絡をとりお話を伺い作成している。		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・作成のみではなく、訪問後にも個別支援計画に沿って振り返り利用者の話し合いをしている。		
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・インフォーマルなアセスメントで主に確認している。 ・個々に応じて発達検査を実施している。		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・参考にしている。		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・作成のみではなく、訪問後にも個別支援計画に沿って振り返り児の話し合いをしている。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・保護者、訪問先の先生方から事前の情報をいただき、職員間で共有しておこなっている。		

	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・訪問後に必ず振り返りの打合せをおこない、項目ごとに記録をしている。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・事前に園の理念等を確認して、不明点は質問をしておこなっている。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>		・項目ごとの検証を踏まえ記録している。 ・保護者に実施報告書を作成している。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		・基本6か月の見直し、利用者に応じては訪問時の様子の変化により確認をする。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		・施設対象の学習会の開催等で地域の連携を進めている。	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		<input type="radio"/>		
	23 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>			
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>	・当センター職員の参加はあるが、訪問支援が参加をする機会はない。	
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		・訪問前後は必ず、また訪問期間が空く場合には電話にて話して共有している。	
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		・開催募集時期に関わる保護者には、利用者に適している講演会などの情報を提供している。	
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		・契約の際に個々に説明をしている。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>		・受け入れをしていただける確認の際に説明をしている。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・直接お会いしてお話しを聞いています。	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		・お会いして説明をして、同意を得てサインをしてもらっています。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・相談、面談はいつでも受け付けている。必要な情報等は専門家の訪問支援員にも相談してお答えする。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		・保護者会の開催は保育所訪問利用者では設けていないが、講演会の機会、当センターのお祭りなどのお知らせをしている。	
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・電話ならばその場でお聞きしてお答えしている。いつでもご相談を受け付けることは契約時にお伝えしている。	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・訪問後に実施報告書を提供している。	利用回数が少ないと、事業が個別の対応で訪問することなので、設間に適していない。

	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・鍵のかかるところに保管し必要な際には事務所内で閲覧する。	
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・必要な書類や情報提供を行う。 ・関係施設職員向けに学習会の開催も実施。	
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>		・訪問先施設の受け入れが可能な限り、カンファレンスを実施。難しい場合は電話にて行う。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		・当日に電話、後日報告書にて共有している。	
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・鍵のかかるところに保管し必要な際には事務所内で閲覧する。	
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>		・信頼関係を築くことには意識して取り組んでいる。	
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・マニュアルの策定をして掲示している。	
非常時等の対応	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・契約時に説明している。	
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・毎日の終了打合せで確認・検討の機会を設けている。	
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・事業所として、委員会、研修会の実施をしている。	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・個別支援計画に記載し、契約時に説明をしている。	